

いわてリフレクティブ・リーダー養成プログラム

いわて産学官民協創リーダーシップ講座 推進チーム

主担当講師：岩手大学客員准教授 高橋和氣

（運営：岩手大学 地域社会教育推進室）

いわてリフレクティブ・リーダー養成プログラム

ReUULのコアプログラム。岩手大学が運営して開催します。

ReUULのコンセプトのひとつでもある「リフレクション（効果的な内省）」を高めながら、岩手の企業リーダーが「自己変容や組織変革を目指して、県内で同じように学び合う仲間とともに、リーダーとしての器を拡張させる」8か月間のプログラムです。

7月上旬に開講し、2月中旬での成果報告会で「変革目標」を発表します。

研修のゴール：

変化の時代において、岩手の企業リーダーが「自己変容」と「組織やチームの変革」の目標を主体的に設定し、組織内で変革を主導できる“自律型リーダー”になることです。

7月
↓
9月

序盤ステージ

現代社会でのリーダーに必要とされる「リフレクションやアンラーニング」についての理解、AIの活用方法、そして県内での越境学習や、異業種交流学習を通して、企業リーダー自身の「ありたい姿」を明確化します。

9月
↓
11月

中盤ステージ

- ・組織論の各種講座（組織開発、組織変革、チームビルディング等）
- ・県内外の実践企業にご登壇いただき事例の深掘り
- ・越境学習や目標設定研修

中盤は、より「組織としてどのように変容すべきか」について学習を深め、受講生の自組織への反映について検討します。

12月
↓
2月

終盤ステージ

- ・人的資本経営等での東北内の先進事例を学ぶ
- ・プロジェクトマネジメント等を学び実践を考える

こうしたインプットもありながら、受講生は自社での変革目標を設定し、変革に向けて歩み始め、2月の報告会での発表を迎えます。

特色として



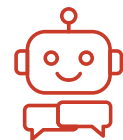
リフレクションの実務実践

特に「リフレクション(内省)」の技術は、受講生の実務現場で応用することで効果を発揮します。その進展を運営チームで後押しします。
(研修内で扱うワークシートも実務上での進展を意識するものになります)



コミュニティ・ラーニング

受講生同士での交流を重視し、成長を支え合う企業間の関係性を育みます。
(修了後に事業連携等への発展性も意識してコミュニティ形成します)



AI活用

「AIをどう活用できるか」という研修も含めて、受講生・運営チームともにAIを活用しながら、各ステージを進めていきます。AIの実務活用力を自然と高められるものになります。

対象者

「岩手県内の企業や団体に勤めているリーダー層」

現場リーダー、マネージャー、部課長、役員、経営者...等、組織内のリーダー・リーダー候補を対象としています。年齢制限はありませんが、主に30代～50代の方の受講を想定しています。なお、講座中盤ステージ以降「組織やチームの変革の目標」を自主的に作成することが求められます。こうした研修内容に適した方の受講が望ましいです。

Before

- ・これからリーダー側になるにあたって成長が期待されている
- ・リーダー階層にいるが「マネジメント」「リーダー」として学びを深める必要性
- ・時代の変化に合わせて自分自身をアップデートする必要性

- ・他部署や他組織との連携をもっとうまく図りたい
- ・チーム内での若手育成の課題
- ・上位組織のビジョンに合わせてチームの状態を変化させたい
- ・複雑に絡み合うチーム課題を整理して、チームをより良くしたい

受講者

所属する
組織やチーム

会社

- ・自己成長を自律的にマネジメントする
- ・現代の組織運営についての学びの獲得
- ・異業種の企業リーダーと仲間になる（今後の企業間連携への発展性）

- ・チーム変革の目標を受講生が自律的に設計する
- ・チームの行動変容に向けてプロジェクト管理をしてゆく

受講者の学びを
社内活用する

- ★「自己成長（自分とチーム内他者それぞれの成長）」にコミットできるようになる
- ★組織内での「対話」の力を上げていく（対話型組織開発）

After

【講座スケジュールと修了要件について】

- ・7月9日(木)の開講～2月18日(木)の成果報告会にかけて8回の重点講座（合計34時間分）の基本全参加
- ・15回の選択講座（合計57時間）のうち、26時間以上の参加
- ・最終回のにて変革目標の提出と発表

を修了要件とします。

ステージ	重点講座	選択講座	ステージ課題
序盤ステージ	4 講座 (合計16時間)	3講座	「AIを活用しながらリフレクション習慣を実現して自己成長目標を設定する」
中盤ステージ	1 講座 (4時間)	7講座	「自組織の課題とありたい姿をまとめる」
終盤ステージ	3 講座 (合計12時間)	5講座	「自己と組織の変革目標策定」 「成果報告会での発表」
全体を通して (修了要件)	8講座：合計34時間	合計26時間 以上の履修	合計60時間以上の履修+上記の各課題の提出

【講座スケジュール（重点講座）】

重点講座：合計34時間分（8回中7回以上の出席が参加条件です。欠席したものについては補習をお願いします）

※太字の項目はすべて参加をお願いします

ステージ	#	日程	講座内容	時間数
序盤	1	7月9日(木) 14時～18時	開講式・オリエンテーション（有識者講演とガイダンス）	4
	2	7月23日(木) 10時～17時	リフレクション導入研修（リフレクションの基礎を学ぶ）	6
	3	8月6日(木) 14時～18時	AI実践活用研修（リフレクションや業務実践にAIを活用する）	4
	4	9月10日(木) 14時～18時	自己変容目標の設定	4
中盤	5	12月3日(木) 14時～18時	組織のあるべき姿策定	4
終盤	6	12月24日(木) 14時～18時	アンラーニング重点研修	4
	7	1月28日(木) 14時～18時	変革目標設定	4
	8	2月18日(木) 13時～17時	成果報告会	4

【講座スケジュール（選択講座）】

選択講座_合計57時間中：このうち約半数の26時間以上の受講（重点講座をすべて受講している場合）

※選択講座は、これに加えて、開講後に追加日程もあります

#	日程	講座内容	時間数	開催場所	オープンプログラム
1	8月21日(金) 15時～18時	対話やメタ認知に関する研修	3	岩手大学	
2	9月1日(火) 終日	釜石市内での越境スタディ（昼食代のみ実費負担）	6	釜石	
3	9月24日(木) 15時～18時	組織開発における時流を知る（外部講師予定）	3	岩手大学	◎
4	10月7日(水) 10時～12時	労使コミュニケーション	3	岩手大学	◎
5	10月14日(水) 15時～18時	AI活用実践②	3	岩手大学	
6	10月21日(水) 15時～18時	岩手県内企業から「対話を通じたビジョン形成」の事例を学ぶ	3	岩手大学	◎
7	10月28日(水) 終日	岩手県南のものづくり企業への越境スタディ（昼食代のみ実費負担）	6	県南	◎
8	11月2日(月) 15時～18時	組織変革のジレンマについて学ぶ（外部講師予定）	3	岩手大学	◎
9	11月16日(月) 15時～18時	チームビルディングの実践研修（外部講師予定）	3	岩手大学	◎
10	11月26日(木) 15時～18時	組織のアンラーニング（外部講師予定）	3	岩手大学	◎
11	12月9日(水) 15時～18時	人的資本経営の実践事例紹介	3	岩手大学	◎
12	12月～1月の土日2日間予定	合宿形式での越境学習（北上市内予定・滞在費実費負担）	9	北上	
13	1月14日(木) 15時～18時	プロジェクトマネジメント	3	岩手大学	
14	2月4日(木) 15時～18時	成果報告会に向けてのフォローアップ研修①	3	岩手大学	
15	2月10日(水) 15時～18時	成果報告会に向けてのフォローアップ研修②	3	岩手大学	

オープンプログラム：受講生以外でも聴講可能な講座で社内の方々も一緒に参加していただくことも可能です（席に限りあり）

【プログラム概要】

履修期間

2026年7月9日(木)～2027年2月18日(木)

受講料

おひとり10万円

(2026年度は文科省助成事業によりこの金額で開催)

開催場所

講義：岩手大学上田キャンパス

(一部、県内各地でのフィールドスタディ)

受講形態

対面方式

※一部オンデマンド対応やオンライン講座もありますが、助成金対象外となります。ご注意ください

講義時間数

- ・重点講座34時間
- ・選択講座57時間

(各講座は内容によって1回あたりの時間数が変わります)

修了要件

- ・合計60時間以上の履修
- ・各ステージおよびに期末課題の提出

応募資格

岩手県内に事業所のある企業・団体の構成員
(申し込みは企業の人事担当者よりお願いします)

※1企業で複数名の応募も可能です

募集定員

30名 (応募状況により選考とします。応募多数の場合は、1企業につき2名までの受講とさせていただきます。)

応募方法

ウェブフォームより
お申込みください

申し込みフォームQR



募集締め切り

2026年5月20日(水)

【人材開発支援助成金のご案内】

企業が従業員に対して職務に関連した専門的な知識や技能の習得をさせるための職業訓練を計画に沿って受講させた場合、厚生労働省より「人材開発支援助成金」の支援が受けられます。

■助成内容

- ・人材育成訓練受講の助成 45% (中小企業の場合)
- ・人材育成訓練受講期間中の賃金の助成 1時間あたり800円 (中小企業の場合)

※助成額は事業規模等によって企業ごとに異なります

■支給条件

- ・従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施する企業
- ・指定時間数のうち8割以上の出席
- ・また、受講日時や選択講座が変わる場合は、その講座受講の前に変更届けが必要となります

■受講前手続き

開講日の1カ月前までに「職業訓練実施計画届」、その他必要な書類を岩手労働局に提出 (6月9日必着)

※受講決定の企業・受講者の方から、順次、事前面談を行います。人材開発支援助成金の申請には「あらかじめ受講する講座を決めておく」必要があるため、選択科目でどれを履修すべきかは、事前面談の際にご相談いただければ幸いです。
(助成金申請手続き前での面談が必要な場合は5月末までに面談実施を推奨します)